

# SDGsービジョンと目標達成への取り組み ～戦略的なマネジメントシステムの活用を考える～

昨今、MS 認証を取得している組織において、SDGs に対する関心が高まっています。  
本講演会では、講師による SDGs 推進事例、ISO マネジメントシステムを活かした SDGs 時代における戦略的なマネジメントシステムのあり方と MS 規格の専門家が加わったパネルディスカッションを行い、SDGs のゴール到達のために MS 規格がどのように活用できるかを、認証組織の経営者層様にも参考となる情報を提供いたします。

2023 年  
3月10日(金)10:00～17日(金)17:00 オンデマンド配信  
参加無料(事前申し込みをお願いします)

## プログラム

開催の挨拶(10分) JACB 代表幹事 菅野 良一 (日本検査キューエイ株式会社 代表取締役社長)

講演1(45分)

### 地方創生と SDGs 達成に向けた取組

**岡山 裕司 氏** 神戸市企画調整局副局長



講演 2(90分)

### SDGs 時代における 戦略的なマネジメントシステムのあり方

**近藤 明人 氏** 麗澤大学経済学部経営学科教授



パネルディスカッション(60分)

### SDGs を組織活動に活かすためのベストプラクティスを考える

パネリスト

岡山 裕司 氏 神戸市企画調整局副局長  
近藤 明人 氏 麗澤大学経済学部経営学科教授  
竹内 啓祐 氏 JACB 幹事/JACB 環境技術委員会委員長  
(一般財団法人 日本自動車研究所 認証センター センター長)

ファシリテーター

西中 宏 氏 JACB 幹事  
(BSI グループジャパン株式会社 執行役 認証事業本部長)

閉会の挨拶(10分) JACB 副代表幹事 小野寺 将人(一般財団法人 日本科学技術連盟 専務理事 事務局長)

対象 JACB 会員認証機関の組織  
JACB 会員認証機関の職員・審査員

お申込 下記 URL または右の QR コードより申込みフォームへアクセスしてください。

<https://jicqa2.smktg.jp/public/application/add/313>

お申込期間:2023年2月6日10:00(月)～3月3日(金)17:00

受講証明書は発行いたしません。

講演内容の録画、複製等の二次利用はお断りいたします。



## 講師紹介及び講演概要

## 講演1(45分)

## 地方創生とSDGs 達成に向けた取組

## 岡山 裕司 氏 神戸市企画調整局副局長

1970年生まれ。神戸大学経営学部卒業。1989年神戸市役所に入庁。2010年から交通局主幹。2013年みなと総局空港事業室推進課長、2016年交通局職員課長、2020年企画調整局エネルギー政策担当部長。2022年度より現職。

神戸は、洗練された都心部だけでなく、すぐ近くに海や山、里山・農村等、豊かな自然環境を有する多様な面を持った都市である。かつて、はげ山であった六甲山は植林により再生し、「毎日登山」等市民に愛されている。このように自然と共生してきた神戸において、SDGsの実現は重要であり、地方創生の観点からも不可欠である。

本市では2025年の将来像として「海と山が育むグローバル貢献都市」を掲げており、SDGsも踏まえて策定した実施計画「神戸2025ビジョン」を推進している。世界初の水素サプライチェーンの構築実証事業や、日本最大級の医療産業集積地「神戸医療産業都市」におけるコロナへの貢献など、最前線の取組を紹介する。

## 講演2(90分)

## SDGs時代における戦略的なマネジメントシステムのあり方

## 近藤 明人 氏 麗澤大学経済学部経営学科教授

1976年生まれ。1998年東海大学政治経済学部経営学科卒業。2006年東海大学大学院経済学研究科応用経済学専攻博士課程後期修了。大学卒業後に株式会社近藤商会及び関連企業の産業廃棄物処理業、運送業の経営に携わる。1999年日本科学技術連盟・ISO14001審査員、研修講師(～2016年)、経営技術アドバイザー(2019年～)。2016年麗澤大学経済学部准教授(2022年から教授)

2015年に採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に示されている持続可能な開発目標(SDGs)を達成するために企業はCSRやESG(環境・社会・ガバナンス)をはじめとするサステナビリティ・マネジメントの取組みが求められている。ところが、国連の報告によれば、新型コロナウイルス感染症やウクライナ危機等の影響によりすべての目標(17の目標)におけるパフォーマンスが悪く、そのなかでも貧困や気候変動に関する目標の達成が困難な状況である。

そこで、本講演会では、SDG Compass(SDGs企業の行動指針)やESG情報開示のフレームワーク等を踏まえながら、ISOマネジメントシステムを活かしたSDGs時代における戦略的なマネジメントシステムのあり方について紹介する。

## パネルディスカッション(60分)

## SDGsを組織活動に活かすためのベストプラクティスを考える

## パネリスト

- 岡山 裕司 氏 神戸市企画調整局副局長  
 近藤 明人 氏 麗澤大学経済学部経営学科教授  
 竹内 啓祐 氏 JACB 幹事/JACB 環境技術委員会委員長  
 (一般財団法人 日本自動車研究所 認証センター センター長)

## ファシリテーター

- 西中 宏 氏 JACB 幹事(BSI グループジャパン株式会社 執行役 認証事業本部長)

SDGsへの取り組みは、あらゆる組織にとって喫緊の課題となっており、組織の今後の活動を左右する経営課題の一つになっています。講演者に加えてJACBの環境技術委員会委員長を交えて、あらゆる組織にとって共通するSDGsへの組織活動のベストプラクティスを考えてみます。講演会の中でお話しされる様々なフレームワークを使った活動や、最前線の取り組みの事例、ISOマネジメントシステムから導かれる対応など、皆様方の組織の今後の活動に活かせる事例や取り組みのヒントが、今後の皆様の組織の活動の支援につながれば幸いです。ぜひご視聴ください。